

就職支援活動

薬学部就職支援講演会 ～先輩からのメッセージ～



分子創薬化学分野 教授

佐野茂樹

Shigeki Sano

薬学部に所属する学生のみなさんへの就職支援活動の一環として、平成23年10月15日（土）に薬学部就職支援講演会～先輩からのメッセージ～が開催されました。ご存知のとおり、徳島大学薬学部は6年制学科（薬学科）の創設に伴い、4年制学科（創製薬科学科）

との併設となっています。そこで、徳島大学薬学部を修了され、薬剤師免許が不要な職種・職場にて活躍されている若手先輩諸氏をお招きし、学生生活や就職活動の体験談、現在の仕事内容などをご講演いただきました。リラックスした雰囲気ですべての学生との活発な意見交換ができるようにと、昨年度からは薬学部1階スタジオプラザを会場としています。本年度は、宮本素行氏（大塚製薬株式会社・探索第三研究所）、多田教浩氏（岐阜薬科大学助教）、加藤周平氏（株式会社ポリリサーチセンター・つくば研究所）の3名を講師としてお迎えし、約70名の参加者を前に熱く語っていただきました。総合討論終了後、個別に意見交換をする学生も多数見られ、充実した講演会となりました。薬学部就職支援講演会は次年度以降も継続して開催の予定です。休日にもかかわらず後輩たちのために力強いエールを送っていただきました3名の



在学生の質問に答える講師陣



アンケートを記入する参加者

方々に対し厚く御礼申し上げますとともに、薬学部薬友会若手会員のみなさんには就職支援講演会講師としてご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

薬学部宣伝隊プロジェクト報告 ～薬学教育と研究の伝道～



生物有機化学分野 教授

南川典昭

Noriaki Minakawa

今年度、徳島大学薬学部では「薬学部宣伝隊プロジェクト」を発足させました。本学部では、教育理念としてインタラクティブ YAKUGAKUJIN（例えば、研究マインドをもった薬剤師や臨床の現場が理解できる創薬研究者）養成を掲げています。この理念を実現するためには、幅広い知識と視野を有し、さらにチャレンジ精神を持った“研ぎ甲斐のある”高校生に一人でも多く志願してもらい、さらに入学した熱々の学生を、薬学研究を通じて教育していく必要があります。

そこで、四国4県や近隣府県の高校に宣伝隊プロジェクトの案内を送付し、訪問希望の回答を多数得て、徳島県内の高校を中心に12校、延べ389名の高校生（+5名の中学生）に対して宣伝隊活動を行うことができました。活動内容は、薬学部の6年制と4年制学科の違いやどうして徳島大学薬学部では一括入試を採用しているのかなどの説明に加えて、訪問する教員がこれまで行ってきた薬学研究をできるだけ分かり易く紹介しました。ちなみに私は、「近未来型の創薬研究 - DNA や RNA はくすりになるか？」という内容で自身の研究を紹介しました。

講演会終了後のアンケートでは、「薬学といえば薬剤師というような知識しかなかったが、今日改めて興味を持った」、「研究は大変そうだけど、すごく興味湧きました」、さらには「薬学部に全く興味がありませんでしたが、この講演で想像以上に面白く、重要な分野ということが分かりました」など多数のポジティブなコメントをもらいました。徳島大学薬学部を第一希望と考えている高校生だけでなく、他学部や他大学を希望している高校生に対しても私たちの想いを伝え

薬学部宣伝隊



母校の城南高校で講演する山内あい子教授



母校の松山北高校で講演する篠原康雄教授

ることができ、予想を遥かに越えた反響があったと実感しています。

この活動は、一度限りでは意味がありません。何年か後に、この宣伝隊活動でエンカレッジされた高校生が徳島大学薬学部に入學し、そしてインタラクティブ YAKUGAKUJIN として巣立ってくれることを願い、これを継続していきたいと考えています。